

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	市民総参加のまちづくり推進事業	コード	161101
-------	-----------------	-----	--------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 企画課	作成者 岡本 典幸
--------	----------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	市民総参加のまちづくり
		予算科目	市民総参加のまちづくり推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市民が市の様々な活動に参加し、市民総参加のまちづくりを推進できるよう、まちづくりフォーラムや子ども会議など市民参画の事業を行う。			
目的	対象者	市民		
	意図	様々なまちづくり活動に参加するとともに、各種施策・計画等の立案やその実施に参画し、行政との協働によりまちづくりを推進できるようにする。		

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1. 岡谷のまちづくりマネジメント事業 ・「まちづくりマネージャー」を継続雇用 4人</p> <p>2. 市民総参加のまちづくりフォーラム 後期基本計画策定にあたり、市民のまちづくりについて意見や考え方を把握するため開催した。 ・開催回数 全5回 ・参加者数 延べ140名</p> <p>3. 子ども会議 後期基本計画策定にあたり、中学生のまちづくりに関する意見交換を行い、市長と懇談会を開催した。 ・開催回数 全3回 ・参加者数 8名</p> <p>4. 市民憲章推進協議会事務</p>				
前年度の課題への対応	簡単に意見を求めることができる事業の実施 →まちなかアンケートの実施			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	事業を実施した件数			単位	件
実績値	1	2	4		
*指標の説明	講座、会議等の具体的な事業を実施した件数				
② 成果指標（指標名）	講座、会議等の定員に対する参加者数			単位	人
目標値	50	50	50	50	
実績値	5	12	355		
達成度	10.0%	24.0%	710.0%		
*指標の説明	講座、会議等の定員に対する参加者数				
*目標値の設定方法の説明	講座、会議等の定員数				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	324,390	287,166	293,072	281,000
経常経費	324,390	287,166	200,000	281,000
臨時的経費	0	0	93,072	0
* 臨時的経費の説明	まちづくりフォーラム等第4次岡谷市総合計画にかかる経費			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	4,640,000	2,400,000	4,000,000	2,400,000
正規職員の人数(人)	0.58	0.30	0.50	0.30
③ 合計コスト(①+②)	4,964,390	2,687,166	4,293,072	2,681,000
前年度比		54.1%	159.8%	62.4%
財源内訳				
一般財源	4,964,390	2,687,166	4,293,072	2,681,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明	-			
④ 活動一単位あたりコスト	4,964,390	1,343,583	1,050,000	
前年度比		27.1%	78.1%	
⑤ コストに関する補足説明	-			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
市民憲章推進協議会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	60,000	60,000	60,000	60,000
岡谷市連合壮年会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	50,000	50,000	45,000	45,000
岡谷市連合婦人会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	97,000	97,000	95,000	95,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	207,000	207,000	200,000	200,000
	割合	63.81%	72.08%	68.24%	71.17%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比 2958.3%
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度 710.0%

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 新たな方（若年層）への市政参加を促す手法を取り入れた事業の実施が必要である。
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 明日の岡谷を考える懇談会事業を実施する。
改善方法	
改善開始時期	平成26年7月から

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	---	--